

令和7年度 特別事業

防災フォーラム

災害時、トイレパニックを 起こさないために

過去の震災での避難所生活では、トイレ使用が難しく衛生状態が悪化して避難者の精神的苦痛や健康被害が生じる「トイレパニック」の問題が起っています。
三重県は南海トラフ地震発生による甚大な被害が想定されており、本フォーラム開催を通じて避難所のトイレ問題を考えます。

日時 **2025年8月5日** 火
14時00分～ 受付は13時00分より開始

会場 **ホテルグリーンパーク津**
6階「伊勢・安濃の間」
(津市羽所町700番地・津駅東口より徒歩5分/駐車場あり)

プログラム

講演会

■ 14:00～

(受付開始は、13:00～)

- ・主催者挨拶
- ・来賓紹介、挨拶等

■ 14:30～

- ・講演①
「災害時の避難所における
トイレ環境について」

加藤 篤 氏
(NPO法人 日本トイレ研究所 代表理事)
・質疑応答

■ 15:45～

- ・講演②
「災害時におけるトイレシステムを考える
～生活排水処理の視点から～」

山崎 宏史 氏
(東洋大学理工学部 教授)
・質疑応答

意見交換会

■ 17:10～

エンターテインメント

■ 19:00～終了

講師紹介

NPO法人 日本トイレ研究所 代表理事 ^{カ トウ} 加藤 ^{アツシ} 篤 氏

まちづくりのシンクタンクを経て、現在、特定非営利活動法人日本トイレ研究所代表理事。災害時のトイレ・衛生調査の実施、小学校のトイレ空間改善、小学校教諭等を対象にした研修会、子どもたちにトイレやうんちの大切さを伝える出前授業などを展開している。「災害時トイレ衛生管理講習会」を開催し、災害時にも安心して行けるトイレ環境づくりに向けた人材育成に取り組んでいる。



東洋大学理工学部 教授 ^{ヤマザキ} 山崎 ^{ヒロシ} 宏史 氏



2008年東北大学大学院工学研究科土木工学専攻修了。民間の水処理関連企業で研究員として勤務した後、2015年より現職。主な研究テーマは温室効果ガス、浄化槽、避難所排水処理など。

現在は浄化槽や排水処理施設の研究を行ってきた経験をもとに、排水由来のGHGs排出量削減に取り組んでいる。(公社)日本水環境学会より、浄化槽から排出される温室効果ガスに関する研究で平成26年年間優秀論文賞受賞。

また、これまでの功績が称えられ、令和4年10月には環境省環境再生・資源循環局長表彰を受賞。(一財)日本建築センター、(公社)日本下水道協会等の委員など多方面で活躍中。



コマダ サヨ
駒田 早代 さん (津軽三味線奏者)

三重県津市出身の津軽三味線奏者。津軽三味線と長唄三味線の二刀流奏者として活動。7歳から津軽三味線、10歳から民謡を始め、15歳の時に第9回津軽三味線日本一決定戦で優勝。2022年東京藝術大学音楽学部邦楽科を卒業。2023年四代目杵屋五三郎お家元より「杵屋五司駒(ぎねやごしこま)」の名を許される。

SNSでの影響力が強く、Instagramフォロワー80万人以上。伝統音楽とポップカルチャーを融合させた独自の音楽性を展開。レッドホットチリペパーズの楽曲をカバーした動画は1800万回再生を超える。



主催 三重県環境整備事業協同組合

後援 三重県・三重県議会

お問い合わせ

三重県環境整備事業協同組合 <https://www.sankankyou.or.jp/>

TEL:059-225-5479 FAX:059-223-7534

